

2005年度秋季総会議事録

日 時：2005年10月7日(木) 16:30～18:00

場 所：札幌コンベンションセンター2階 204号室(B会場)

議事に先立ち出席者の確認がなされた。

事前投票総数(会場参加者との重複は除く)は498名、会場参加は136名、有効委任状提出者1名である。

出席者のうちで事前投票をしたものは、事前投票の方を無効とした。

有効出席者総数は635名で、定足数(正会員総数1,647名の5分の1=330名)を満たしていることを確認した。

次に署名人として福島登志夫氏、阪本成一氏が選出された。

議事の経過および結果

1. 花岡理事が資料に基づき、2006年度事業計画案の説明を行った(第1号議案)後、質疑応答が行われた。
2. 北本理事が資料に基づき2006年度収支予算案の説明を行った(第2号議案)後、質疑応答が行われた。
3. 花岡理事が、第16期評議員候補者について説明を行った(第3号議案)後、質疑応答が行われた。
4. 第1号議案、第2号議案、第3号議案は各々賛成多数で承認された。

報告事項等

1. 100年史編纂委員の増員
花岡理事が、富田良雄氏(京都大学)を100年史編纂委員に加え、全体で11名としたことについて報告を行った。
2. 年会実行委員の増員
花岡理事が、梅本智文氏(国立天文台)を年会実行委員に加え、全体で10名としたことについて報告した。
3. 中教審への要望書 -次代をになう子どもに豊かな科学的素養を-
祖父江理事長より、上記の要望書を提出した件について報告がされた。
4. その他
 - (1)Asian-Pacific Journal について
祖父江理事長から、新しい天文学術雑誌として Asian-Pacific Journal の刊行が計画されていることについて全体の経緯について説明があり、今後日本天文学会としての関わり方について議論を進めたい旨報告があった。
 - (2)年会セッションの分割について
百瀬理事より、年会での銀河と高密度天体のセッションが巨大化しており3日に収まらない可能性が出てきたため、次回以降の年会においては分割する予定である、との報告があった。
 - (3)天文功労賞推薦募集の呼びかけ
山岡天体発見賞選考委員長より、天体発見以外で功労のあった方をたたえる天文功労賞への推薦を募集しているので、ぜひ応募いただきたい旨呼びかけがあった。
 - (4)「すざく」衛星について
井上副理事長より学会からも支援のあったすざく衛星について、打ちあげが成功したことのお礼と報告があった。XRSに一部不具合があった点については原因究明に努めているが他は順調であり、改めて公募観測の案内を出すとのことである。
 - (5)East Asian Young Astronomers Meeting
東京大学の米原厚憲氏より来年日本で開催される表記の会議について案内があり、若手への参加呼びかけがされた。
 - (6)IAU新会員について
国立天文台の福島登志夫氏より、来年のIAU総会へ向けて、学位取得後数年程度の研究歴の方を対象に新会員が募集される予定であるとのアナウンスがされた。
 - (7)その他
国立天文台の谷川清隆氏より、100周年を迎える学会にふさわしいレビュー雑誌の定期的な刊行を始めてはどうかとの発言があった。理事会で検討することとなった。

2005年10月27日

議 長 祖父江義明

署名人 福島登志夫

署名人 阪本 成一